

10年間の感謝を込めて

ロマンティック・ジャズ
いよいよファイナル！

ロマンティック・ジャズ

ROMANTIC JAZZ

premium nights 2019

プレミアムナイト

ベースト・川島潤一によるナビゲーションで、珠玉のスタンダード・ナンバーを4回シリーズでお届けしているロマンティック・ジャズ。今回で遂に10年目、シリーズ最終回となります。ファイナルにふさわしい名プレイヤー達が、各ステージを華やかに彩ります。前回大好評だったテナーサックス唐木洋介、ピアノ北條直彦に加え、アルトサックス五十嵐明要、ヴォーカル鈴木史子といった充実のゲストを迎えます。

また、準レギュラーのピアニストとして浜田和久が初参加。

お馴染みのレギュラーメンバーとともに、世界でここだけの最高にロマンティックなステージをお届けします。

5 season1 FRI 10 五十嵐 明要 Igarashi Akitoshi
アルトサックス

五十嵐明要(アルトサックス)・浜田和久(ピアノ)
西川喬昭(ドラムス)・川島潤一(ベース)

シャーブス&フラツツ等、数々のピックバンドのコンサートマスターを歴任した偉才。

曲目:スター・ダスト、A列車で行こう、クラウド(雲)
イン・ナ・メロー・トーン ほか

7 season2 FRI 12 唐木 洋介 Tounoki Yousuki
テナーサックス

唐木洋介(テナーサックス)・浜田和久(ピアノ)
西川喬昭(ドラムス)・川島潤一(ベース)

テナーサックス、フルート、クラリネットを操る実力派プレイヤー。
本物のテナーを聴こう。

曲目:ハーレム・ノクターン、黒いオルフェ、小さな花、キャラバン
ほか

10 season3 FRI 11 鈴木 史子 Suzuki Fumiko
ヴォーカル

鈴木史子(ヴォーカル)・浜田和久(ピアノ)
西川喬昭(ドラムス)・川島潤一(ベース)

世良謙トリオと豪華客船「飛鳥」のステージを務めた歌姫が魅惑の
スタンダードをたっぷりご紹介。

曲目:チーク・トゥ・チーク、カサブランカ、バードランドの子守歌、
やさしく歌って ほか

2020 season4 1 FRI 17 北條 直彦 Hojo Naohiko
ピアノ

北條直彦(ピアノ)・西川喬昭(ドラムス)
川島潤一(ベース)

昨年ピンチヒッターとして鮮やかなピアノプレイを披露したベテ
ラン・北條直彦が再登場！

曲目:星に願いを、いつか王子様が、マイ・ロマンス、慕情 ほか

大泉町文化むら・小ホール

各回とも
Open 18:00 / Start 19:00

～名プレイヤー達の演奏がたっぷり聴けて、このお値段！～

4回通し券 ¥7,000 1回券 ¥2,000 全席自由

※未就学児は入場できません。 ※前売券完売の場合、当日券はありません。

チケット発売 4月6日(土)

《窓口》午前8:30～ 《電話》午前10:00～
～お早目にお求めください！～

主催:(公財)大泉町スポーツ文化振興事業団

チケットのお求め・お問合せ:大泉町文化むら(月曜休館) 群馬県邑楽郡大泉町朝日5-24-1 TEL.0276-63-7733

URL: www.bunkamura.or.jp E-mail: jigyo@bunkamura.or.jp

文化むら

検索

文化むら
ジャズ・コンサート
シリーズ第10集

出演者
の
ご紹介

ロマンティックジャズ

J ROMANTIC JAZZ

premium nights 2019

Igarashi Akitoshi
五十嵐 明要
アルト・サックス

東京都出身。日本ジャズ界偉才のアルト・サックス・プレーヤー。「シャープス&フラッツ」「ブルー・コーン」「小原重徳とジョイフル・オーケストラ」と一貫してビッグ・バンドのコンサート・マスターを務めた。その一方で実兄の五十嵐武要(ドラムス)と共に、自己のバンド「ザ・聞楽亭(ぶんらくてい)」を結成し、現在も多岐にわたり活躍中。1989年(平成元年)アメリカ「モントレー・ジャズ・フェスティバル」に出演。1992年(平成4年)には「ロサンゼルス・国際ジャズ・フェスティバル」に出演。1994年(平成6年)にはニューヨークのアポロ・シアター及びカーネギー・ホールに出演。2018年(平成30年)には日本を代表するジャズ奏者として、文部科学大臣から表彰された。



Kawashima Junichi
川島 潤一
トータル・コーディネート、ベース

1950年(昭和25年)2月、群馬県大泉町生まれ、大泉町在住。青山学院大学時代、ジャズ研に所属。ベースは独学。東京赤坂のスタジオでは数多くのミュージシャン達とのセッションを重ね、1985年(昭和60年)スタジオプレーヤーであったドラムス田畠貞一に出会い、彼のグループのベーシストとして約3年間つとめた。2002年(平成14年)3月に自己のトリオでNHK国際放送・NHK-FMに出演。また地元上毛新聞紙「オピニオン21」のコラムニスト及び群馬県文化行政懇談会委員を務めた経験を持つ。



Suzuki Fumiko
鈴木 史子
ヴォーカル

東京都港区赤坂出身。高校時代から作曲家の浜口庫之助氏に師事。大学では「スイング・コンボ」でボーカル担当。1984年(昭和59年)からジャズ・スポットなどで歌手生活に入る。スタンダード・ジャズを中心に数多くのレパートリーを持つ。又、世良譲(ピアノ)トリオと客船「飛鳥」で世界航路で共演。2010年(平成22年)日露文化交流センター主催、外務省協力で「カサントペテルブルグ公演」に参加。2013年(平成25年)にサントリーニ・ホールの大ホールにて単独公演を行い、実況DVDを制作。人気と実力は多くのファンを持ち評価が高い。



Tounoki Yousuke
唐木 洋介
テナーサックス、フルート、クラリネット

埼玉県和光市在住。中央大学吹奏楽部時代に独学でクラリネット、サックス、フルート、作・編曲をマスターしプロ活動をスタート。1966年(昭和41年)ニューヨークに渡り住み、幻のラテンバンド“オルケスタ・フジヤマ”に参加し、エド・サリバン・ショーに出演や北・中・南米各地を旅。帰国後、自己のグループで活躍後、1976年(昭和51年)に原信夫とシャープス&フラッツに入団。以来25年間重鎮メンバーとして在籍し世界の一流アーティストと共に演。現在はフリーランスとして活躍中。



Hojo Naohiko
北條 直彦
ピアノ

東京芸術大学作曲科卒。作曲、ジャズ研究、ピアノ・インプロビゼーション、現代音楽からジャズ…クロス・オーバーに活躍。コンテンポラリー・ジャズピアノI、II。実践コード進行法I、IIなど著書も多数。NHKスタジオ505をはじめ、様々なジャズ・フェスティバルに多数出演。また、国際ジャズ教育者協会日本支部常任理事、日本現代音楽協会会員、東京都世田谷うたの広場「詩と作曲の会」会員。



Nishikawa Takaaki
西川 喬昭
ドラムス

佐賀県出身。東京都在住。1966年(昭和41年)「沢田駿吾5」に参加。大野雄二、杉本喜代志などのグループでライブ活動。また、「松本英彦4」「世良譲3」「鈴木章治とリズム・エース」「大給櫻子3」などで活躍し、数多くのレコーディングに参加している。海外においても笈田敏夫との「シンガポール・ジャズ・フェスティバル」、大給櫻子の「ニュー・カレドニア・コンサート」へ出演するなど国際的にも活躍。また、多くの後輩の育成に力を注ぎ、沢田駿吾のルーツ音楽院などで指導にあたり、日本のジャズ界に貢献している。



Hamada Kazuhisa
浜田 和久
ピアノ

長崎県長崎市出身。上京後、武蔵野音楽学院の講師であった小山大宣氏に師事した後プロ活動を開始。辛島文雄氏(ピアノ)・西直樹氏(ピアノ)等と交流。地元長崎にてエルビン・ジョーンズ(ドラムス)と共に演。1989年(平成元年)に「宮間利之とニューハード」に参加し、TVや全国各地で演奏活動を経験。1996年(平成8年)に群馬県の10人編成ジャズ・バンド「モニュメント・ハウス」のレコーディングに参加。現在は群馬県榛東村に在住し、県内各地でフリーランスとして演奏活動をしている。

